



ヘルスインフォメーション

Health Information

しもつけワイズ

【正解は③】

詳しくは、32ページをご覧ください。

お知らせ

定期予防接種の再接種費用を助成します

骨髄移植手術などで免疫が消失し、接種済の定期予防接種の効果が期待できないと医師に判断された方が、それらの定期予防接種を再接種する場合、その費用を助成します。対象となる予防接種の種類は、予防接種法に規定する定期接種（A類疾病）です。お手続きの詳細については、健康増進課にお問い合わせください。

対象者

次の要件をすべて満たす方
 ・骨髄移植手術などの理由により免疫が消失し、接種済の定期予防接種の効果が期待できないと医師に判断されていること
 ・予防接種の再接種を受ける日において市内に住所を有すること

「歯と口の健康週間（フッ素塗布）」事業

6月3日、きらら館において小山地区「歯と口の健康週間（フッ素塗布）」事業を行いました。この事業は、口腔衛生の普及と幼児の健康保持増進のため、毎年開催されており、今年も、856人の親子が参加しました。今年度、市のフッ素塗布事業は次のとおり実施します。

日程

10月14日(日)
 平成31年2月17日(日)

会場

きらら館

対象

年少児から小学2年生まで

料金

無料



熱中症に気を付けましょう

熱中症に対する備えを十分にしている、今年の夏を乗り切りましょう。

熱中症はどのようなときに起こるの？

熱中症は、高温多湿などの環境や激しい労働や運動によって体に熱がこもってしまい、体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温の調節機能がうまく働かないなどの原因で起こります。

熱中症かと思ったら

体温が高い、頭痛、めまい、吐き気がするなどは熱中症の危険信号です。
 熱中症かと思ったら次の応急措置をとり、重症の場合は救急隊を呼びましょう。

- ① 風通しのよい日陰や、クーラーが効いている室内などに避難させましょう。
- ② 衣服を脱がせて、皮膚に水をかけたり、うちわや扇風機などで扇ぎ、体を冷やしましょう。頭や脇の下を氷のうで冷やすのも有効です。
- ③ 水やスポーツドリンクの摂

取で、水分や塩分を補給しましょう。
 ※吐いたり、意識障がいがあるなど、自分で水分を摂取できない場合は、医療機関への搬送を最優先にしてください。

熱中症を防ぐには

- ・日陰を歩く、ブラインドやすだれを垂らす、日傘をさすなど、暑さを避けましょう。
- ・帽子をかぶる、速乾素材のものを着るなど、服装を工夫しましょう。
- ・こまめに水分を補給しましょう。(アルコールは尿の量を増やし、かえって水分を失ってしまいます。注意してください。)

・左記のQRコードで、その日の熱中症予防情報を知ることができます。

